

# CONTENTS COMBAT

2017.Apr.  
No.493

# 4

Cover Design  
Favorite Graphics Inc.  
Cover Photo  
Taku Kobayashi  
©WORLD PHOTO PRESS 2017  
※本文中の価格は消費税込みの  
総額表示です。



## 【第1特集 / SHOT SHOW】

020 特集 世界最大の銃器見本市!

# ShotShow 2017 in Las Vegas

●Photos&Text by Tomo Hasegawa

146 【番外編】

## コンペティティブ・シューター が見たSHOW

## 【第2特集 / ミリタリー】

044 SP&要人警護、その実像

058 BATES Boots New Products 2017

066 ニッポンのカゴボ

080 The Equipments of the U.S. Force  
[現用米軍装備カタログ]  
Crye Precision特集Part.5

●解説: 松原隆 ●撮影: 山崎 学

## 【第3特集 / トイガン】

004 SCOOP!

# バイオハザード7 レジデント イービル

サムライエッジ <アルバート. W. モデル 01>登場!!

018 COMBAT FRONT LINE

070 WESTERN ARMS  
M4A1 PDW RAS Ver.

●Photos & Text by SHOTGUN MARCY

075 WESTERN ARMS  
S&W SHORTY FORTY2TONE

●Photos & Text by SHOTGUN MARCY

078 WESTERN ARMS  
COLT M45A1 CQB PISTOL

●Photos & Text by SHOTGUN MARCY

090 NEW GENERATION STYLER

●fujiwara

100 THE WORLD OF LITTLE ARMORY

102 WANCHER'S STYLE ●織本知之

104 サバゲ三等兵

●織本知之

108 PROJECT NINJA

●morizo(東京装備BAKA)

112 トイガンニュース

112 WA 世田谷ベース・モデル  
1056インターセプター・シリーズ

114 タナカ Kar98 AIR

116 ミリいじ技研

117 Militaria Roundup!

ヴェトナム戦争関連ミリタリア ●解説: 菊月俊之

128 PRESENT

154 兵装嗜癖 ●by fujiwara

156 新連載! DJちゅうの妄想雑記ノート

196 Goods & Accessory

200 中田商店グッズ

202 S&Grafグッズ

129 GAME OVER THE TOP

132 サバゲ三等兵APS編

134 US SHOOTING LIFE

136 突撃!!びつちよりな☆

138 読んで覚える

TakuのHOW TO Shooting 射撃のススメ

140 トイガンズ・ジャンクション

170 SMGこぼれ話

172 アラフォース!

176 編集長日誌

177 バックナンバリスト

178 ミリタリー・コレクション

180 レア・ミリタリー・コレクション

182 A STITCH IN TIME

183 銀座ブレイドショー

184 狩野健一郎のシネマ放浪記

185 狩野健一郎の新作DVD紹介

186 蛙のゆびさき

188 戦車兵通信 WORLD OF TANKS

190 コンバットマガジン・インフォメーション・センター

191 読者プレゼント応募方法

192 編集後記



SCOOP! バイオハザード7 レジデント イービル

# サムライエッジ 〈アルバート.W.モデル〉

## 01〉登場!!

東京マルイ  
×  
カプコン

ALBERT.W.MODEL01



『バイオハザード7 レジデント イービル』の発売に合わせて発表された、サムライエッジ〈アルバート.W.モデル01〉。東京マルイとカプコンのコラボモデルとして、これまでにない新機軸の数々が盛り込まれた一挺。まさに、永年育まれた技と心が込められた究極モデルだ!

●文・写真:小林 拓

# 米陸軍 新採用拳銃トライアル、 “SIG P320”に決定!!

ショットショー3日目の夜の事だった。突然のビッグニュースが駆け巡った!

米陸軍は“ベレッタM9”に替わる次期制式採用拳銃トライアルを実施していた。これに終止符が結果が示されたのだった。

トライアルには「モジュラー・ハンドガン・システム」の略称“M.H.S.”プログラムという名称が設けられていた。

様々な状況に対応できるように、外観やセットアップを自在に変更できるシステムウェポンとして、機能的な要求されていたのだった。

グリップサイズが変更できる事や、ライトやレーザーサイト装備用のアンダーマウントレイルを装備していること。さらにオプティカルサイトやサブレッサーが使用可能な事を含め、兵隊の体格や置かれた状況に合わせセットアップが変化できるなど、機能的な要求が示されていた。

コルト、S&W、H&K、SIG、FN、グロック、CZ、スプリングフィールドアーモリー……そうそうたるメーカー名が浮上するものの、トライアルに参加している事や、どのモデルで参加しているか? などの情報は明確にされなかった。しかしながら、ショットショー会場の各社ブースには、水面下での鏝迫り合いを主張するようなアイテムが展示されていた。

スライドにダットサイトが直付けできるように改良されていたり、マニュ



## 世界最大の銃器見本市!

# SHTO in LAS VEGAS 2017

「Shooting Hunting Outdoor Trading SHOW」。2017年1月17～20日までの4日間、ショットショーが盛大に

開催された。今年も全世界から銃器に関係した約1,200社が、アメリカ・ネバダ州ラスベガスに大集結!!

# SP&要人警護 その実像

常に警護対象者に寄り添い、厳しい視線を周りに投げかけるSP。万が一の事態となれば、自分の身を犠牲にしても警護対象者を守らねばならない。知られざる日本のSPと要人警護の歴史と真実の姿をお伝えしよう。

文／写真：菊池雅之



SPは基本的に黒のスーツ姿だ。VIPの取り巻きに目立たずにそっとなじめるようにしている。だが襟の部分には必ずSPのバッジを付ける。

# BATES

## NEW MODELS LINEUP 2017

NEW JUNGLE BOOTS "RECONDO"

SRT-4 & SRT-7

COBRA-8 COMBAT BOOTS

VELOCITOR ZIP

PHOTOS&TEXT BY TOMO HASEGAWA

問い合わせ先：中田商店 ☎03-3839-6866  
HPURL：http://www.nakatashoten.com/

### NEW JUNGLE BOOTS "RECONDO"

現代のタブで快適なソールシステムと、伝統的なジャングルブーツの外殻仕様が、時を超えて融合。写真は「マルチブラック」カラーモデル。ポップに思えるほど魅力的な外観に、信頼の快適性を内包する。またもベイツが新たなステージのドアを開く!! 価格38,000円のところ特別価格22,800円(40%割引)で発売中!



## NEW JUNGLE BOOTS

「えっ、なんで今さら……?!」

ベイツのニューモデルを見た時、最初にそう思ってしまった。

あれだけハイテクを誇って躍進してきたのに、なぜ今さらジャングルブーツなのか? わざわざ後戻りする事は無いだろうに。

ところが、ジャングルブーツのニーズは

今も高いのだという。

一般の人が思い浮かべる「軍人のブーツ」。それがジャングルブーツだ。ファッションで欲しい人だっているだろう。また、薄地ならではの「涼しさ」と「軽快さ」を好む人も多くいる。

しかし、昔のジャングルブーツを、履き心地の悪いクツをガマンして履くのはあま

りに辛すぎる。

そこでベイツは人気のM6、M9のソール、米軍にも採用されている信頼性の高いソールと、ジャングルブーツのスタイルを融合。

ゴツゴツしてなくて、スッキリした印象が逆に新鮮だ。実際に履いてみると……。なるほど、足首周りの涼しさがよく判る。ショットショー取材で訪れた冬のラスベガス

ベイツ最新モデルを  
徹底フィールドテスト。



500デニールのMULTICAM柄ナイロンコーデュラ素材を使用。



つま先や踵、主要な部分にはウルヴァリン社製「WARRIOR」レザーを使用。水・油・汚れを弾く、特殊加工されたレザーだ。

ビブラム社ミュータントアウトソール。セルフクリーニング機能で、いつでもガッチリ路面をキャッチする。



シューレースは締め易く、緩め易いので、着脱はラクだ。



カスタムを手掛けたのは、ハリウッドと深い関係を持つコンペティティブ・シューターであるタラン・バトラー。彼がTT社の代表だ(真ん中)。左右で彼を囲んでいる筋肉質なお二人は、劇中でやられ役の俳優さんだ。

# SHOT SHOW 2017 SPINOFF

## GLOCK

今年のグロックは、見事に新製品がゼロ。そこで目立っていたのは、日本では夏公開予定の『ジョン・ウィック2』の映画で使用されたプロップ・ガンの展示。カリフォルニアのTT社のカスタム・ガンだ。



## コンペティティブ・シューターが見たショー

銃への需要が安定して多い、現在の米国の状況を反映して、新機軸の銃が数多く紹介されるSHOT SHOW。その模様を、US在住のコンペティティブ・シューターがレポート!

ショットショーが今年もやってきた。初めてショーに参加したのは、既に5年も前のこと。今年は、大統領選挙が終わった直後であり、しかも銃規制に消極的な共和党が勝った後のショー。最終の金曜日には、共和党代表のトランプ氏が大統領就任式に出席し、その中継が会場にも流れていた。僕が初めて参加した2012年のショットショーも大統領選挙後だった。銃規制に積極的な民主党が勝ったので、そここで「銃規制」に関しての話になっていた。そ

の後、数年間、銃器業界はバニク需要による空前のバブルとなり、各メーカーが莫大な利益を上げた。2014年にはショーの来場者数は、6万7千人を超えて過去最高の数字を記録、今年もその数字に近い6万5千人近くの来場者数で、過去2番目の数字を記録した。今後も銃器業界のバブルは続くのか、興味深い所だ。

今年のショットショーも大手メーカーから発売される新製品は、各口径、バレル長、各カラーのバリエーション展

開が目立ち、過去の人気製品のリバイバル版の発売も多かった。大きな話題は、ショットショー期間中に米軍の次期制式ピストルが、SIGのP320に決定したニュースが発表されたことだろう。SIGのブースはいつ行っても大賑わいだった。

コンペティティブ・シューターの僕が気になった新製品は、いくつかのメーカーがピストル・キャリバー・カービン(PCC)と呼ばれる9mmのライフルを発売し始めたことだ。これは、ア

●Photos & Text: Muneji Samejima

メリカの射撃競技団体の1つであるUSPSA(アメリカ版IPSC)が、そのPCCを使用する部門を新たに設立したことが理由だ。昨年は、キャリア・オプティックと呼ばれるスライド上に小型ダットサイトを載せたハンドガンを使う部門を新設し、今年はこのPCCと言う訳だ。銃器業界の人口は増え続ける中、射撃競技人口も確実に増えていることを伺わせる現象だ。そう言った「シューター目線」で見たショーの様子を今年もお届けしたい。

## HUDSON MFG



今年のショットショーで話題になった変わり種の新製品と言えば、長谷川氏も注目する、ハドソン社のH9ピストルだ。ストライカー方式の1911で、トリガー・プルは中々面白い感触で、リセットも短く、決して悪くはない...と言う印象。アメリカの人気銃器雑誌であるRECOILで先駆けて紹介されたこの銃だが、そのレポートに関わった人に話を聞くと耐久性に課題があるとのことだ。これからこのモデルが成功するか、期待したい。